

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成 21年9月3日

事業所番号	2774600635	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	(株) 日本ケアコンサルティング		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム 柏原	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	柏原市円明町11番17号	評価調査日	平成 21年 8月 28日
	電話 072-975-0070	評価確定日	平成 21年 9月 4日

【情報提供票より】(平成21年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年9月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 18人
職員数	27人常勤 5人 非常勤 22人 常勤換算 13.1人

(2) 建物概要

建物の構造	単独 鉄骨 4階建ての(2階~3階部分)
-------	-------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(月額)	42,000円	その他の経費	月額 30,000円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 25万円		
	退去30ヶ月以内15万円償却		
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
	または1日当たり		1300円

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18名	男性	8名	女性	10名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	6名	要介護4	3名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢 平均	82才	最低	67才	最高	98才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	谷口歯科 医療法人清晃会 ヤスダクリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームは開設5年目を迎え、職員も3年以上の勤続者や介護経験者が主力で、チームワーク良く、利用者の楽しい日常生活を守っている。管理者は、今年3月に就任しましたが、前任者とは2年以上も一緒に協力して来られた関係で、安定した管理を進めており、職員も、利用者に堅苦しくなく丁寧な声かけをしながら、自分に厳しく、他人に優しく、を心がけ、日々の介護に当たっている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地元の老人会の会長さんのご尽力により、少しずつ地域交流を進めているが、日常の交流としては、感謝の心を込めた普段のご挨拶から実施している。又、運営者による、職員のスキルアップを目的とした研修は積極的で、重点方針の一つとして推進しているが、その他の研修も毎月の定例会議後等に実施し、成果を上げている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者の指導の基に、各ユニットのリーダーが中心となり、職員と前回の自己評価での要改善項目の検討、評価結果での要改善を指摘された項目、更に、今後の改善策の進め方を検討して、今回の自己評価票を作成している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4.5.6)
	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催している。議事内容は、ホーム側の行事を含めた諸報告と毎回、事前に定めたテーマについての話し合い等である。又、地元の老人会の会長さんからは、地域の諸活動や各種の情報、或いは、ご意見等を頂き、介護の改善に活かしている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7.8)
	ご家族アンケートの集計結果では、安心と満足をして頂いているという内容であるが、毎月の近況報告や出来事等も送りながら、コミュニケーションを図っている。更に、来訪時のご家族のご意見、苦情等については、管理者を中心に職員と検討し改善を図っている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームの所在地は、古い歴史のある住宅地域の周辺部になるので、地域の方々との交流の機会は難しいが、老人会の会長さんのご努力や、ご援助もあり、職員一同は尚いっそう、連携への努力を続けている

（ 部分は重点項目です）

↑ 取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「穏やかに普通の生活を送る事」「心身の痛みを緩和する事」「自分でできる事への喜び自信を持つ事」 以上を3大理念とし介護に取り組んでいる		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、出勤をすると朝礼を行って、理念を読み上げ、管理者からの連絡事項等を聞いてから、業務に入っている		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営推進会議によって地域自治会に加入することが出来、又、老人会の会長さんのご配慮で交流が進められている	○	地域のボランティア組織との交流が途切れないよう、更なる連携を検討して欲しい。又、散歩等で外出の際、地域の方々との日常のご挨拶も含めた交流を益々、進めて欲しい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価ごとに、自己評価及び外部評価について、職員研修会等で相互に検討し、今後の改善に役立たせている		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議により、地域自治会に加入することが出来、老人会の会長さんのご配慮で、地域交流の改善が進められている。又、会議での懇談で諸情報を頂き、改善に役立てている		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市のご担当者へは、適宜に訪問し話し合いを行っている	○	市の介護相談員との交流が少ないので、市のご担当者との連携で、介護相談員の受け入れを進めて欲しい
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	来訪時には職員が近況報告と、ご意見等を承っているし、毎月の郵送文書には近況報告を同封している		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を備え、苦情担当者も定めているが、苦情があった場合には管理者が中心となり、職員全体で解決に当たっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	市内のホームとの交流は、情報交換の場となり、活動の糧となる場合が多いので、市役所とも相談し、定期的を開催する機会を見つけて欲しい

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	16	37	<p>○ 現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		3ヶ月ごとに定期的な介護計画の見直しをしている。そして職員は、関係者とも相談して現状に即した介護を目指している

3 多機能性を活かした柔軟な支援

	17	39	<p>○ 事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		利用者、ご家族の状況に応じて、出来るだけの支援を行っている
--	----	----	--	--	-------------------------------

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

	18	43	<p>○ かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している</p>		定期的な医師、看護師、歯科医師の往診等を受けられるよう支援している
	19	47	<p>○ 重度化や週末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		開設以来、重度化された方が数名おありになった。また、終末までお世話されたお方も居るが、その都度、職員一同が情報等を共有して対処して来ている

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

	20	50	<p>○ プライバシー確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>		職員は一人ひとりの情報や、介護の際には、特にプライバシーに配慮して対応している
	21	52	<p>○ 日々の、その人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		一人ひとりの生活のペースや、好みを尊重して、過ごして頂けるようにしている

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

	22	54	<p>○ 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		調理は好みに対応しながら行っている上、準備や片付けの出来る方には、お手伝いをして頂いている
--	----	----	--	--	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>ゆっくりと入浴を楽しんで頂けるよう、曜日に関係なく入浴して頂いている</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>ユニットごとに外出も含めた楽しみごとで過ごして頂いているほか、随時、散歩や買物に行ってもらえるよう、体制を準備している</p>
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>出来るだけ散歩に行けるように、又、買物にも対応できるようにしている</p>
(4) 安心と安全を支える支援					
	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>職員の配慮の下で、日中の居室、玄関の鍵掛けは行っていない</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>避難訓練は年2回、実施しているが、消防署員による救命救急訓練も所内で実施してもらっている。又、地元のご協力については、老人会の会長さんと、緊急時の対応を検討している</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>カロリーは、チェックしたメニューでフロアごとに調理され、体重も管理されている。味付け、盛り付け量についても個別に対応している</p>
2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>共用の居間は遮光にも配慮し、壁等の飾り付けも季節感を演出している。又、毎朝、職員と共に全員で清掃をしている。特に、食事中はムード音楽で雰囲気や和らげている。</p>
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>個室は、一人ひとり自由に家財道具を入れている、そして、比較的簡素なムードで生活されている</p>